



月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>

2022

2

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	7
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 1月句会	19
川柳吟行会「ぼ」	24
十和田たてがみ川柳会 12月句会報	28
■連載■	
「深艘心理」 奈良一艘	18
Infomation	32～

カンテラ

むさし

新型コロナウイルスもオミクロンの時代に入って感染がまた急拡大している。

それとは関係ないが、今冬は「冬の嵐」が時々やって来て、雪の量も多い。

ウィルスにも雪にも風にも負けてはいられない。ところで、インフルエンザはどこへ行ったのかな？

それでは、カンテラに明かりを灯しましょう。

A群

鬼だって泣きたい時があるんだよ

村上あつこ

お返事は心の雪が融けた頃

まみどり

親友の心は白く乾いてた

城後朱美

一日が終わり静かに爪を研ぐ

ひとは

そうだねえ群れずにいれる筈がない

斎藤泰子

「いとをかし」なんて言うから笑っちゃう

須藤しのすけ

言い訳は物干し台にかけたまま

ままこ

夫にも義理チョコ一つ買っておく

葉 閑女

後悔が三歩遅れてやって来た

熊谷冬鼓

頭蓋骨スレて止まらない失言

四ツ屋いずみ

誠実な感じに仕立て直す鼻

吉田吹喜

吉田吹喜さん、「鼻」を「仕立て直す」って具体的に整形手術をするってこと？吹喜さんの「鼻」を見て不誠実だと思ったこと一度もないけど、何か事情があるんでしょうね。例えば、いい人ができそうだとか…（汗）

B群

満月に燃料棒をトッピング

笹田隆志

水たまりのぞけば轍見えてくる

村上てる

家族を終つと「ミ」だけがのこるじゃろ？

旅 男

観覧車ふとかなしげな顔をする

ひとり静

諦めてアキラメテあきらめて

きんぎょ彼句香

盃の深いところに陽が沈む

安藤なみ

誰かしら手首に積るなごり雪

守田啓子

C群

取り急ぎフロッコリーとキャベツを呼ぶわ

岩根彰子

富士壺のびっしり付いたさよつなら

米山明日歌

二等辺三角形のアナフィラキシー

土田雅子

チョコ食って歯医者に向かうテロリスト

小野五郎

ハブアナイスティ！バットアイドントハブマネー

奈良一艘

又ーの群れ率いて怒涛の新年へ
灰皿に僕を消してる痕がある
直線が引けない影がうるさくて

宮井いずみ
芝岡かんもん
辻井洋子

辻井洋子さん、「直線が引けない」ということは曲線しか描けないってことだね。それ困るね。でも、「影」って何となく誰の言うことも聞いてくれそうにないし…、曲線だけじゃ川柳や文章は書けないし…。あ、影が好きなものかをか食べさせればどう？食べてる間は静かになると思うけど…。

岩根彰子さん、「プロッコリーとキャベツを呼ぶわ」って、何をしようとしているか知りませんが、どうやら「プロッコリー」と「キャベツ」は彰子さんの仲間みたいですね。「取り急ぎ」だから、次にピーマンとかセロリとかが呼ばれるのかも…。もしかしたら、むさし暗殺計画とか練ったりしていない？

米山明日歌さん、「富士壺」って船の底とか岩礁とかにくっついている富士山の赤ちゃんみたいな形のものだよね。「藤壺」とか「フジツボ」と書くものだとばかり思っていました。「富士壺」って「さようなら」にも着生しちゃうのか。知らなかった。「フジツボ」は酒の肴にいいんだよな…。

土田雅子さんは「アナフィラキシー」に罹っていないよね？この病気、何度調べてもすぐ忘れてしまう私にとって怖い単語です。また調べました。広辞苑に『アナフィラキシー【Anaphylaxie ドイツ】（「無防備」の意）アレルギーの一種。抗原抗体反応により急激なショック

症状を起こし、著しい場合死に至る現象。平滑筋の攣縮（れんしゆく）により血液循環障害・呼吸困難などをきたす。』と出ていました。「著しい場合死に至る」って、とんでもないアレルギーですね。「二等辺三角形」のやつって、もしかしたら新型じゃない？

小野五郎さん、風変わりな「テロリスト」を御存じですね。普通の人は、「歯医者」へ行くとき歯を磨いてきれいにしてから行くんだけど、わざとチョコレート歯にくっつけて行くって、そいつは間違いなく「テロリスト」です。危険です。

奈良一艘さん、句の最初の「ハブ」って沖縄にいる毒蛇だと思いました（汗）パチンコですってんになっただけ「はぶ」という毒蛇を捕まえて売りに行くいい日だ、って読んだのです。そうじゃなく「いい日だけ金がないんだ」ってことみたいだね。違うかな…。カタカナって硬い感じがするね。

（了）

おかしき川柳社会員雑詠集

無人駅

★無人駅1月月間賞

ぽおーんと冬木立に挟まったまま

四ツ屋いずみ

村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

七色の虹にたくした願いごと
老いてなお素直な心で生きてゆく
ごめんねと言われてとれた指の棘
喝采にアドレナリンがあらわれる
水たまりのぞけば轍見えてくる

先月号のお気に入り
来週になんて約束できません
来週は生きていればいつでもあります。老いた今毎日
大切に生きています。
渡邊こあき

守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

はじめまして北山崎の波しぶき
受け容れる両腕に辛夷の冬芽
誰かしら手首に積るなごり雪
種差に唇みたいな三日月が
私をなぞる三陸沿岸道路

先月号のお気に入り
ポケットから取り出す晩秋の浜辺
ロマンチック！
小野五郎

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

私にピンクを足して春にする
春だから少しゆがんだ銀河系
挨拶のはじめにつける春の水
春うららりセットボタン押しましょう
近いうち伺いますと春が言い

先月号のお気に入り
漕ぎ出せばいいでしょう 舟なんだから
スカツとするカツコイイ句ですね
土田雅子

葉閑女【ようかんによ・青森県青森市】

待ち受けにオーケストラがやってきた
夫にも義理チョコ一つ買っておく
虎の威も鬼の涙も無味無臭
座礁して凍り豆腐になる夜明け
狼藉は許すもうじき春だもの

先月号のお気に入り
やめようかもうやめようか 酒なんて
そんなことを言う仲間魔様に舌を抜かれるよ。
吉田吹喜

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

冬至まで満月までと晴れている
炎の色が好きか嫌いかで分ける
ゆきおんななれぬならぬと生きている
冬を越すもぐらたたきの防御法
悟らねばならぬ限界雪の嵩

先月号のお気に入り
本当はわかっています打開策
でも そっちはしたくないのはわかります
まみどり

吉田吹喜【よしだふぶき・青森県弘前市】

ウィンドウに侘しいバアサンの絵柄
この2年地味くに生きてくすぶって
泣いてない泣けないんだなあ 胃が痛い
人間ドック気合を入れて出陣だ
誠実な感じに仕立て直す鼻

先月号のお気に入り
ラシドしてしおらしく転ぶ
一艘さんがしおらしく転ぶなんて…なにかありましたか？ラシドが原因ですか？
奈良一艘

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

マッチ売りの少女の燃え止し街角に
もう聞かぬ破裂しそうな風船だ
稲妻のことは走る風起こる
サラサラと残りの時間ひたす足
冬が来たやつと津軽の人となる

先月号のお気に入り

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

なりふり構わず冬の般若顔
鬼門だと気づいた朝に沼つてた
疑わず齧歯類だったのはボク
頭蓋骨ズレて止まらない失言
牛のゲップ以上の罪ですわれら

先月号のお気に入り
ひとり又ひとりと逝って咲く牡丹
悲しみの中でも咲いているので、牡丹は大きくて美しいですね
きさぎ彼句音

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

一晚を手にいれるため捨てる夢
咲く花のことだけ書いておく日記
雨の音だけであなたができあがる
幸せはどの辺なのか砂時計
富士壺のびっしり付いたさようなら

先月号の
お気に入り

思うほどポリエチレンじゃない夜明け 守田啓子
いっそポリエチレンだったらいいのに。と思う夜が、わ
たしにもあります。

渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

深掘りをしてしまった虎が出た
ライン打つ先走りして後退りして
抜かないが言わせてほしい薔薇のトゲ
能書きはいらぬ胸を開いてよ
落下する波は大きい方がいい

先月号の
お気に入り

小分けして優柔不断をやりすこす 熊谷冬鼓
小分けにして誰かに決断してもらおうと。

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

常温に戻して知らんぷりをして
取り急ぎブロッコリーとキャベツを呼ぶわ
金継ぎを所望左の膝頭
B反を絡げ帰っていつちち
ゆつくりしいや父さんの足袋ソックス

先月号の
お気に入り

上村夢香【うへむらゆめか・山口県岩国市】

朝の湯に浸かるひととき旅の宿
つば九郎に笑われている池の鯉
開き直り予想真逆の評論家
初雪はわたしの闇もふんわりと
夢の続き今夜もまたね手を合わす

先月号の
お気に入り

ちくつとしただけで終わった恋でした 守田啓子
私にもあったようななかったような・・・遠い過去の想
い出。

安藤なみ【あんどなみ・愛知県瀬戸市】

底知れぬものが問題一を解く
またもやの春ジップロックが爆ぜた
ふつふつが始まり甕はほつとする
盃の深いところに陽が沈む
ジューピターの余韻を抱いて朝寝坊

先月号の
お気に入り

足枷を外すシヨウガが香る夜 まきこ
シヨウガの香る夜は特別なのです、自由になって温まり
ましよう！

石橋芳山【いしばしほうざん・島根県松江市】

口数が多くてカステラのざらめ
セレンゲティー跳んで飛びはね中尊寺
逃亡のあいまに検診を頼む
双頭のワシは貧血気味である
叙勲者のズラリとみんな好かんタコ

先月号の
お気に入り

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

これが序曲だ靴下に穴ひとつ
タバコに火をつける冬の水平線
スノーダンプにひつかかる早春賦
ポケットに入りきらないカタロニア
チョコ食って歯医者に向かうテロリスト

先月号の
お気に入り

きさらぎ彼句吾【きさらぎあきあ・青森県弘前市】

いけないいけないと裏腹が煽る
ワタシが又つのる夜の三角州
あなたってサイenkoサイentanジェント
諦めてアキラメテあきらめて 冬
今を見失うジブンを見失う

先月号の
お気に入り

これからこれからっていつ始めるの 土田雅子
わんわんと四六時中こたまするのですが…(…)

熊谷冬鼓

〔くまがいとうこ・青森県青森市〕

決心はキャベツの芯の硬さほど
後悔が三步遅れてやって来た
鯖缶パコッ一から十まで直されて
スイッチオン気のせいだって言われたが
一斉に飛び立つ群れに雪光る

先月号の
お気に入り

本日は終のベッドの搬入日
土田雅子
どんな出来事でも川柳にしてしまっ。脱帽です。

斎藤泰子

〔さいとうたいこ・秋田県大館市〕

会葬御礼良いつきあいをしてたのね
お守りにしますあなたの人生観
そうだねえ群れずにいれる筈がない
こうやって一日が過ぎ一年が過ぎ
令和四年夢の続きのように明け

先月号の
お気に入り

多分もう会わない人に振る両手
熊谷冬鼓
会わない人・会えない人・会ってはいけない人・会えない人・色々想像しました。

城後朱美

〔じょうごあけみ・福岡県八女市〕

見返りが欲しくてあげる握り飯
親友の心は白く乾いてた
紙おむつ母の涙を見てしまう
だとしても夜中にトイレ起こされる
ひ孫パワー母がひよっこり歩き出す

先月号の
お気に入り

ご褒美のりんごがひとつ落ちてきた
吉見恵子
がんばる自分を神さまは見ている。よかった。

Sin

〔しん・青森県外ヶ浜町〕

逢いたさは塩でいただくのがベスト
望まない子でしたか 水風呂じゃぼん
剥がした絆創膏の匂いのような二人だね
怪獣の棲み処に忍び込む五十路
アソコってどこよ ワタシってなによ

先月号の
お気に入り

直線をちよっとだけくすぐってみる
斎藤泰子
「真っ直ぐ」に嫉妬するようになったのは、いつからなんだろう。

笹田隆志

〔ささだたかし・青森県青森市〕

ガス欠の心の闇に放火する
死んだらあかんリワークマンのよりどころ
オミクロンに飢餓海峡は似合わない
赤フンドシの七里ヶ浜で寒稽古
満月に燃料棒をトッピング

先月号の
お気に入り

思うほどポリエチレンじゃない夜明け
守田啓子
私の視界を超えた夜明けです、恐ろしい！

芝岡かんえもん

〔しばおかかんえもん・神奈川県横浜市〕

艱難辛苦沢庵ますます旨くなる
灰皿に僕を消してる痕がある
七三に分けておりますたなごころ
父さんを置く母さんは縛ってる
新しいのか古いのか悲鳴狼

先月号の
お気に入り

待っても待っても待っても切り取り線
守田啓子
どんなに待っても、結局、切り取られてしまっ。つらいなあ。

須藤しんのすけ

〔すとうしんのすけ・青森県弘前市〕

「いとをかし」なんて言うから笑つちやう
お隣は談志が死んだジャズ喫茶
ガラガラと繋ぐあやとり赤い糸
底辺の右から二番目が私
花柄が好きだった日の戦闘機

先月号の
お気に入り

喜怒哀楽詰まった家が壊される
村上あつこ
器はいつか壊れます。人間はいつか壊されます。でも、どちらもまた作れますよ。

瀧尻善英

〔たきじりよしひで・青森県八戸市〕

鼻先にくつついている嫉妬心
麗しき歳を過ぎたが美しい
熟慮することを心掛ける短慮
ゴミ出しが僕の日課で真面目です
満たされる筈の趣味だが泣かされる

先月号の
お気に入り

納豆で仕上げたわたし良く粘る
辻井洋子
この粘りをわたしたちはジョッパリといいますね。

旅男【たびお・青森県五所川原市】

腹吐いて生身晒せば痛いかなあ？
痛いのは脳か表か家族かな？
家族を終わりとゴミだけがのこるじやろ？
死なないのは辛い！で天国は？違うかな？
旅男です「だびよん」が語源 知るまいか？

先月号のお気に入り
素質なら娼婦とやくざホームレス 吉田州花
バーチャルは楽しい。主演を張れます。私はやぶ医者と
炭坑夫とゴルゴと尺取虫ときじぼとと、

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

懐のマグマ冷して飲んでます
直線が引けない影がうるさくて
惑星の点になります太ります
ロボットと手を繋いでく寺詣り
鼻歌で茶の間の空気入れ換える

先月号のお気に入り
漣ぎ出せばいいでしょう 舟なんだから 土田雅子
ごめん、腰が痛くて。いい訳させて下さい。

田中 薫【たなかかおる・青森県弘前市】

産直から元気を導かれON
湯葉の緻美しい所召し上かれ
紐解くとニョロニョロだったわたしだった
土を漕ぐ過去に戻りたくて少女
手習は59からは辛いのです

先月号のお気に入り
三日目を舐めたら酸味が強すぎる 小野五郎
頭から離れない句です。

土田雅子【つちたまさこ・青森県青森市】

底辺を変えなきやどうにもならんがな
ゴミ箱ポイ上辺ばかりの関係で
二等辺三角形のアナフィラキシ―
峰打ちにされたサンマのへそ辺り
夕焼けのお腹辺りに触れてみる

先月号のお気に入り
思うほどポリエチレンじゃない夜明け 守田啓子
宇宙人以上の言葉があれば進呈したい！

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

昨日のバスで別れた人に逢いに行く
両手首陰干しにして日を終える
虹も月も私の目から逃げていく
本日は青天漬物石が言う
枯れ枝の中におかゆを流し込む

先月号のお気に入り
極上の闇釣り上げました「かしこ」 岩根彰子
極上の闇にドキドキが止まらなです。

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

かずかずのごぶれいつかごわさんに
玄関に水がこぼれたあとがある
たとえばのはなしにみんなついてくる
過言ではないけどあとには数珠繋ぎ
そぞろ歩きのカニに乾杯いたします

先月号のお気に入り
極上の闇釣り上げました「かしこ」 岩根彰子
「かしこ」にインパクトがありました。

奈良一艘【ならいつそう・青森県弘前市】

ハブアナイステイ！バットアイトントハブマナー
悪魔的ピラフが好きで月は三日月
まねんだねそたらだごでのたばれば
生きるってア・ア・ア・ア・アフラック
せつくすが虚しく響く夜のJAZZ

先月号のお気に入り
虫さされ跡が消えれば月を見る月 吉田州花
月は見られる度に月らしくなるんでしような。うむ。

ひとは【ひとは・青森県黒石市】

遠吠えにたつぷりエコー効かせてる
女神にも魔女にもなった舞台裏
老化かなたつぷり恋をしなくっちゃ
それってさのりたまの裏切りね
一日が終わり静かに爪を研ぐ

先月号のお気に入り

ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

かなしみの海はなんだかゼリー状
もがけばまた沈むそれだけはわかる
明るさはケンとメリーの木のようだ
どこことなくおぼろになつてきた身体
観覧車ふとかなしげな顔をする

先月号のお気に入り
今日も雨なにやら象形文字な朝
熊谷冬鼓
雨が降っているのに、なんとなく光があるような気がするのでしょうか。

まぎ（ハ）【まぎこ・青森県青森市】

秋日和青い尻尾を追跡中
言い訳は物干し台にかけたまま
冬木立これが最後とバラを買う
今夜決行干し大根がさきやいた
可も不可も決めずお汁粉啜つてる

先月号のお気に入り
素質なら娼婦とやくざホームレス
吉田州花
州花さんならどれもいけますね。面白いです。

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

熊スプレーするか高速ナンチャクか
テンメンジャンいららずで甘口の磁気嵐
ヌーの群れ率いて怒涛の新年へ
知らないと言えずカリカリ果林糖
遺伝子の羅列へふつと熱い息

先月号のお気に入り
隠れ家をフルーツポンチへと移す
石橋芳山
サクランボみたいに目立つ方だから、透明マントも借りて来たほうがいいかと。

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

行いを責める頭痛がやって来る
無職つて書いて私は親不孝
わかっつてはいても目の前には壁が
後いくつ努力足りないんだろうな
昨日よりおいしいご飯はい拍手

先月号のお気に入り

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

初雪を待ちわびたのは過去のこと
雪女になるかマッチ売りするか
凍らせてしまった一通の手紙
ひと通り雪にうもれてから眠る
お返事は心の雪が融けた頃

先月号のお気に入り
一日の橋をこわさぬよう眠る
米山明日歌
目覚めたら橋が無くなっていたら大変、そつと眠らなければ。

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

吹雪いてるのが五十肩なのですね
きつかけは天然色の中にある
後戻りできない夜と愚を語る
形あるものだけが正解じゃない
ありふれた理由で生きていいですか

先月号のお気に入り

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

もがきながら底なし沼の恋に落ち
台所で母の欠片を探してる
引き算しか無い後期高齢ケセラセラ
地図に無い冥途探して徘徊中
鬼だつて泣きたい時があるんだよ

先月号のお気に入り
人生はあつこという間のホコリタケ
旅男
ホコリタケがいい！

むぎし【むぎし・青森県蓬田村】

保存したメールが時々立ち上がる
夜の取っ手を冷凍保存しています
狼が眉間を吹雪かせ出て行った
頭の中が冬の嵐になっている
吹雪くので今夜はモネと話そうか

深艘心理

星降る夜の交差接種と「ぬ」という字 むさし
(会員雑詠集「無人駅」12月号より)

皆さまご存知、おかしようき川柳社代表むさしさんの句。交差接種とは、国はこれまで同じ種類のコロナワクチンを二回打つ事を原則としてきたが厚生労働省のワクチン分科会に米国の臨床試験のデータが示され、「交差接種の方が感染を防ぐ中和抗体は増えている」と報告されたため、11月に交差接種を容認した。つまり例えばファイザーを二回打って3回目をモデルナにすれば抗体の強度が増すという事らしい。

そして掲句の下五にある「ぬ」という字は、「1五十音図」の第3音。歯茎鼻音の有声子音「n」と母音「u」とから成る音節。「ぬ」2平仮名「ぬ」は「奴」の草体から。片仮名「ヌ」は「奴」の旁から。」であるので、それらを繋げてゆくと掲句の意味はこうなる。

この世は星の降るような綺麗な所なのに今オミクロン株という変異体のコロナの第6波が爆発的な勢いで暴れ回っている。人間は何とか知恵を絞って果敢に戦ってはいるが、うーむ、コロナめ！「奴が憎い」一艘と酒も呑めなくなるではないかと心底憤っているのだろう(笑)むさし代表は普段余り声を荒げて怒る方ではないので余程腹に据えかねているのだろうと察し申し上げる。コロナ禍に恐れ慄いた年を締め括るには最も適切な句であるう。

因みにこの原稿を書いている1/15現在の青森県のコロナ感染者数は昨日より142人増えて6393人に達しているという。正に非常事態である。2月の例会はさて、どうなるのだろうか？心配だなあ。

端から

こぼれ出る

1月8日(土) 午後1時～ アウガ5F小会議室

▼出席者(8名)

一帆・熊谷冬鼓・渡邊こあき・葉閑女・野沢省悟・むさし・笹田隆志・Sin

▼投句者(27名)

米山明日歌・柳本恵子・安藤なみ・芝岡かんえもん・吉松澄子・旅男・城後朱美・石橋芳山・岩根彰子・土田雅子・須藤しんのすけ・郷田みや・鳴海賢治・吉田吹喜・斎藤泰子・笹田かなえ・坂本清乃・宮井いずみ・村井規子・まきこ・まみどり・上村夢香・田中薫・きさらぎ彼句吾・守田啓子・村上あつこ・夏草ふぶき

おかしようき川柳社

1月例会

席題『考え』

秋田県秋田市 一帆選

【佳作】

考えることやめて妻としゃべってる
 考えがまとまりませんくじを引く
 ホカホカの考え一晚寝かせよう
 組板が拾ってくれる言葉尻
 この先を考えているオミクロン
 プチ家出思案している午前二時
 思慮深い野良猫なりの甘え方

【秀逸】

「空は海だ」右の手首がそう言った
 ピエロにもものつべらぼうにもなれなくて
 考える人のポーズで悪巧み

【特選】

小石がコロン僕の平方根だと思っ
 むさし

↑ 小石が転がって答えが出る人生もいかも知れない。

席題『考え』

青森県青森市 熊谷冬鼓選

【佳作】

「空は海だ」右の手首がそう言った
 プチ家出思案している午前二時
 考えがまとまりませんくじを引く
 組板が拾ってくれる言葉尻
 熟考は茶番でしたとつば九郎
 百均で迷う幸せだと思っ
 予報士になつたつもりで春を嗅ぐ

【秀逸】

小石がコロン僕の平方根だと思っ
 この先を考えているオミクロン
 人間は無数の穴でできている

【特選】

考える人と小銭の使い方
 一帆

↑ 考え過ぎる人は小銭以下になるかも。小銭がいい味に。

宿題『マーク』

青森県青森市 笹田隆志選

【佳作】

渋皮をかぶっていたら私です
 没句にも刻まれているDNA
 投げつけた言葉 暴風雪マーク
 家系図のきつと私は蒙古斑
 詩人Aにハテナマークが降っている
 人を食ったようだ後光が射している
 浮気防止 夫のへそに馬鹿と書く
 身体中駐車違反を貼られてる
 三角四角どちらかがうさぎ小屋
 唐獅子牡丹だつてワクチン打っている
 ゾンビになるかも知れない首の皺
 ノーマークの男がいきなり笑い出す
 エイヤツと不参加に○ 迷いだす
 どの木にもしるしを付けて白日夢

守田啓子

村井規子

宮井いずみ

村井規子

むさし

葉 閑女

城後朱美

芝岡かんえもん

鳴海賢治

野沢省悟

野沢省悟

むさし

熊谷冬鼓

鳴海賢治

【五客】

キスマークもう消しましたそんな冬
 強姦の一步手前のキスマーク
 愛の深さをマークシートで確かめる
 みちのくにカップマークのなんでも屋
 一人の夜はウールマークの人をよぶ
 ずれていたマークシートに鳴るチャイム

まきこ

石橋芳山

米山明日歌

吉松澄子

米山明日歌

上村夢香

斎藤泰子

郷田みや

吉田吹喜

岩根彰子

須藤しんのすけ

坂本清乃

鳴海賢治

むさし

【地位】

マークされた活断層に蟻と居る

【天位】

嬰記号のひさしで柿の皮をむく

合掌土偶が泣いているって本当か？

↑ 題を読みこまずに合掌土偶を詠んだ作者はさすがです。

宿題『間』

青森県青森市

野沢省悟選

【佳作】

これ以上どうしろってさオミクロン
 句の乾きお肌の乾き正比例
 一字空けに刻む鼻唄と寝息
 暴風が収まるまでの骨密度
 独り酒どの隙間からあやそうか
 バス二時間宇宙駅まで六時間
 少々と多少の違いすきま風
 あの夜とこの夜の間の水蜜桃
 束の間のツでかまわないやるせない
 段ボールAわたし人間だったのよ
 歯間ブラシで掻き出すママ友の噂
 人心の真ん中辺に瓶ビール
 手間暇を掛けて天気を燻製す
 眉間から凍てつく冬の日本海

吉田吹喜
 村井規子
 須藤しんのすけ
 む さ し
 きさらぎ彼句吾
 渡邊こあき
 まみどり
 米山明日歌
 安藤なみ
 ま き こ
 きさらぎ彼句吾
 岩根彰子
 岩根彰子
 石橋芳山

どうしたの緩衝材のまといすぎ
 正月が歯に挟まっていて歩けない
 いつの間にか岬いつの間にかひとり
 わたしたちトムとジェリーとおんなじね
 眼鏡ふき残り時間を見つめてる
 自販機と壁の間が心地よい

吉田吹喜
 む さ し
 守田啓子
 田中 薫
 柳本恵子
 夏草ふぶき

【五客】

三分間待つてねすぐに化けるから
 行間にこむら返りの跡がある
 鯖缶が空になったら王手です
 椎間板ヘルニアというお墨付き
 わたくしの隙間を埋めに来る吹雪

【人位】

大丈夫密を避けてるだけだから

熊谷冬鼓

【地位】

平行線わたしと同じ匂いする

一 帆

【天位】

軽々とたどり着きたい向こう岸

一 帆

※最も確かで最も不確かな「間」。その間に誰でもこの句のように思うだろう。

宿題『自由詠』

青森県蓬田村

むさし選

【佳作】

ご面倒をおかけしますとお正月
 甘納豆ほろり 集中力ないの
 補聴器と部分入歯が仲間です
 梅干しで消毒してたおばあさん
 ほっとくと深くなる溝柿を干す
 ふりだしに戻れるのなら草の芽に
 そもそもさあなんて昭和が喋りだす
 からぼやみてかおめ 二宮金次郎
 苦手です柔軟剤のきいた人
 たんぱらな女ばかりを五人産む
 さよならを抱いて一人のオルゴール
 自損事故繰り返しての蜘蛛の糸
 007も月光仮面も竹輪の穴
 濁点と暮らし続けているわたし

笹田かなえ
 守田啓子
 鳴海賢治
 安藤なみ
 渡邊こあき
 きさらぎ彼句吾
 熊谷冬鼓
 旅 男
 米山明日歌
 笹田隆志
 葉 閑女
 夏草ふぶき
 野沢省悟
 芝岡かんえもん

天空に星空いつぱいの轍

現在過去未来直進が無い信号機

道ならぬ恋をしたんだ蜆の無口

チョコの味残しておんな居なくなる

人生の表です かつばえびせん

この皺の下は活断層である

【五客】

帯緩め出刃包丁を舐めている

ま き こ

追いついてみるとやつぱり楕円形

郷田みや

ばらばらにされ果てている海老のお頭

一 帆

信号の黄色の役をたのまれる

米山明日歌

九十の母がわたしを皿回し

宮井いずみ

【人位】

外面が雨から雪になって来る

野沢省悟

【地位】

春になるまで押し続ける変換キー

柳本恵子

【天位】

柏手の端からこぼれ出るチャチャチャ

葉 閑女

※神を拝む時の「柏手」とキューバ音楽、不思議な組み合わせですね。

川柳吟行会「ぽ」

課題『街』

コロナの感染状況を見ながらの忘年句会が、12月15日アートホテルで開催された。県内外からの投句参加者は19名。うち出席者は9名。

ひさしぶりの顔合わせが嬉しい。やはり川柳は顔を合わせておしゃべり出来ることが醍醐味だと思う。このまま終息に向かうことが期待されていたのに、年明けからはオミクロン株が爆発的に拡がっている。今後の吟行句会がいつから始められるか、悩ましい新年である。(さち)

【5点 特×2・佳×1

ひび割れた街のかけらに除夜の鐘 笹田隆志

【紫の園】寂れた街の情緒があり、ひび割れて欠けた一片に除夜の鐘が響き渡る、句の響きが素敵です。【啓子】廃れてきた繁華街のことか。「ひび割れた街のかけら

したらシャッターが開いて明るい元気な街に。【文音】シャッター街を見た一瞬の閃きの点眼薬に脱帽です【隆志】シャッター街をどうしたものか、そんな気が持ったわつてきます

この街が好きで同窓会幹事

城後朱美

【文音】平凡でお人好しで、この街が好きで、今年またコロナ禍の幹事を引き受けたのだろう。大好きな街がぼつとなごむような明るさを感じました。【彰子】このに、作者の郷土愛が溢れている。世話好きな人物像も。【州花】昔から好きだった訳ではないが、今は。【さち】同窓会を準備してくれる人の自然体の優しさが嬉しい。

【4点 特×2

街の灯の届かぬ先に占い師

吉見恵子

【州花】若い時から占いが好きである。中年過ぎは花鳥風月を友として暮らすは当たったと言えるか。【五郎】運勢を占ってみるべきか否か。揺れ動く心を表現した。ドラマの始まりを見ているようだ。

のフレーズがいい。【ふぶき】うらぶれたシャッター街の隙間を埋めるような除夜の鐘、響きますね。

逃げてきた街の匂いはクレゾール 旅男

【冬鼓】少し前まで消毒と言えばクレゾールだった。受け入れてもらえず馴染めなかった作者。挫折した街を匂いで表現した佳句。【隆志】どこからか、いつのことか、漠然としているが、災害の街から避難したときの切迫感がクレゾールから伝わってきます。【彰子】逃げて来た人物の背景が背負うドラマにぞくぞくする。

【5点 特×1・佳×3

シャッター街点眼薬を2、3滴 守田啓子

【さち】寂れた商店街のシャッターが目をつぶったまぶたのよう。元気になるよう、目を開いてほしいから、目薬を垂らしてやる絵が見えました。【こあき】目薬を注

【4点 特×1・佳×2

街がもう忘れたがっている昭和

滋野さち

【朱美】街はすっかり変わってしまった。昭和は見当たらない。変わっていいよ。【州花】生まれたのも児を産んだのも昭和。【冬鼓】昭和の代名詞のような街並み。そんな街に代弁させた。

五番街のマリーはちゃんと幸せよ 笹田かなえ

【こあき】ちゃんがいいですね。世の中案外こんなものかも。別れたから不幸せとは限らないですね。【さち】元歌を生かしてさりげないメッセーじがうまい。【啓子】更年期も乗り越えて・・・よかったです。

【3点 特×1・佳×1

街角で途方にくれているサンタ

渡邊こあき

【夢香】コロナ禍で、サンタさんも就活中でしょうか?【規子】現実はまだまだでサンタも国境を越えられないよね。

満天星が街の夕焼け係です

滋野さち

【規子】一読してほっこりする。コロナ後に目にした句

で一番前向きになった句で。【啓子】街に夕焼け係があったとは。

【3点】佳×3

マネキン動く地下街の午前四時 柳本恵子

【朱美】やっぱり動いてるよねマネキン。【かなえ】七五五が効いている。地下街あるある都市伝説。【五郎】不安感をサスペンスドラマ風に仕立てた。

ガス欠の街のはずれの信号機 笹田隆志

【いずみ】「ガス欠の街」が切ない。たとえ活気のない街外れであろうと信号機は淡々と仕事をしているのだ。【冬鼓】息も絶え絶えの街で設定どおりに動く信号機。フクシマを思った。【文音】ガス欠の街のどうしようもない税が上がるらない信号機が街を象徴しているようでおもしろい。

【2点】特×1

etc.:テールランプに街角に笹田かなえ

【旅男】思い出や黄昏句が多い中、まとめてetc.:で括ったんですね。テールランプが効いています。参りました。

の街は爽やかで愛おしい。

街じゅうに散らばっている懐かしさ 村井規子

【彰子】街じゅうに懐かしさ…この表現に共感した。それは古里の駅を降り改札を抜けた途端に誰もが感じる。平易だが深く心に滲みだ。

【2点】佳×2

カラスの羽根ひろう駅裏飲み屋街 宮井いずみ

【吉見恵子】人間社会では優遇されないカラス。この羽根を人間が落とすもがきのようなものを比喩しているように、哀感が伝わった。増してや「駅裏飲み屋街」だものね。【旅男】カラスの羽根が風俗に絶妙。どぶ板飲み屋街と合いますね。

消えそつな蛍光灯のアーケード 熊谷冬鼓

【こあき】寂れた街が目には浮かびます。【夢香】シャッター通り・・・さみしい状況です。

のほほんこの街にいたテロリスト 城後朱美

フィラメント遠い記憶の街の夢 旅男

【柳本恵子】フィラメントの白熱化した光をながめながら記憶を思い描くロマンチックな句ですね。

なにもかも束の間雪に沈む街 守田啓子

【吉見恵子】「人生なんてあっという間よ。」と言っているようだ。「雪に沈む街」が幻想的な雰囲気です。

街の灯が静かに味方ひとり旅 上村夢香

【ふぶき】ひとりだと夜の街の灯りは心強く思えます。その灯りが味方だなんて嬉しすぎますね。

トラックの行き交う街のボンカレー 宮井いずみ

【かなえ】寂れた街の古いボンカレーの看板の絵が浮かぶ。排気ガスでくすんだ街並に、もう人通りは戻ってこない。

コンペイトウ拾って行けば秋の街 笹田かなえ

【いずみ】「コンペイトウ拾う」を個人的で色とりどりのことと解釈した。前向きに楽しいことを探していると秋

【こあき】【ふぶき】日常の当たり前の風景に溶け込んでいるテロリストってどこかにきつというはずですね。【五郎】日常生活にひそむ不安定性に目を向けている。

【1点】佳×1

この街で躊躇い傷は落ち着いた 岩根彰子

マッチ燃えてます君の街がみえる 柳本恵子

雪灯りまだ眠りから覚めぬ街 渡邊こあき

あの人の街を訪ねるひとり旅 紫の園

セツケンと西池袋の裏に住む 岩根彰子

ジングルベル街の本屋で買った日記 福田文音

銀行の前に広がる枯木灘 小野五郎

シャッター街の野良ネコたちと故意になる 夏草ふぶき

仮面つけ夢をさがしにネオン街 上村夢香

笑わしてなんぼの街で鍋焼きうどん 宮井いずみ

町内に八百屋魚屋薬屋そば屋 吉田州花

街の灯のラーメンする影や陰 旅男

十和田たてがみ川柳会十二月句会

■12月18日(土) 於：十和田労働福祉会館

【出席者】 漆館ミノリ・木村奈生美・久保あざみ・

斉藤蛙井・佐藤まさあき・瀧尻善英・中村英三・

福田芳記・村上昌子・高田幸柳

【投句者】 磯島雅男・城後朱美

■席題 『演技』 漆館ミノリ 選

【平抜き】

あといくつ一人芝居で終わる恋
名優は個性に演技溶け込ませ
演技する目の奥に有る嘘本音
隠へいも役者揃えて見得を切る
答弁書丸読み大臣演技へた
演技なし明るく軽く生きてきた
隠し事眉間に書いてすぐバレる
かわいいと演技へたでも通る道

高田 幸柳

佐藤まさあき

木村奈生美

村上 昌子

福田 芳記

中村 英三

村上 昌子

久保あざみ

寅さんが笑い袋を開けさせる
目を丸くさせるフィギュアの4回転
殊勝なる首相のお面すぐ剥がれ

斉藤 蛙井
福田 芳記
村上 昌子

【秀逸】

代議士のパフォーマンスが獲る議席

瀧尻 善英

賢さへ演技覚えたパンダの子

高田 幸柳

【特選】

不器用で演技が出来ぬ父でした

瀧尻 善英

■席題 『演技』 瀧尻 善英 選

【平抜き】

演技派へ個人情報など要らぬ
寅さんが笑い袋を開けさせる
主婦ですが演技うまいと言われます
答弁書丸読み大臣演技へた
演技なし明るく軽く生きてきた
演技する目の奥に有る嘘本音
迫真の演技で涙誘つてる

漆館ミノリ

斉藤 蛙井

久保あざみ

福田 芳記

中村 英三

木村奈生美

佐藤まさあき

隠し事眉間に書いてすぐバレる

村上 昌子

名優は個性に演技溶け込ませ

佐藤まさあき

目を丸くさせるフィギュアの4回転

福田 芳記

引き締めた心に真の演技力

木村奈生美

【秀逸】

賢さへ演技覚えたパンダの子

高田 幸柳

嘘泣きの下手な演技が見透かされ

佐藤まさあき

【特選】

隠へいも役者揃えて見得を切る

村上 昌子

■宿題 『選ぶ』 久保あざみ 選

【平抜き】

選り好みしないペロリと食べ盛り
わたくしを選んで呉れて有り難う
LEDほんと身近なノーベル賞
神さまが選んでくれただんな様
すなおな女選んでみたが支配者に
当選の翌日からは腰が伸び

村上 昌子

木村奈生美

福田 芳記

城後 朱美

中村 英三

高田 幸柳

選択肢広げて生きる下り坂

磯島 雅男

言うがまま苦い二十才の投票日

村上 昌子

選ぶのは同じファイザー3回目

福田 芳記

入選の一句に湧いて来るやる気

木村奈生美

バーゲンの一品争奪手と手と手

村上 昌子

生まれくる子どもが選ぶパパとママ

城後 朱美

自信作選者のメガネに叶ってる

佐藤まさあき

選ばれた初心忘れず四年間

高田 幸柳

【秀逸】

「切る」「切らぬ」なんてソフトに言われても

瀧尻 善英

食品を選ぶ厳しい束ね髪

木村奈生美

【特選】

サンタさん何を選んで来てくれる

斉藤 蛙井

■宿題 『炎上』 斉藤 蛙井 選

【平抜き】

スキャンダル燎原の火となり拡散す
ネットでの軽い発言要注意

佐藤まさあき

高田 幸柳

□ 2022.05.31 ✕ 「不浪人賞・年度賞」候補句募集

第 64 回「不浪人賞」・第 52 回「年度賞」【応募資格】青森県在住者【応募料】青森県川柳連盟加入吟社に所属している方は無料。無所属の方、また連盟だより（結果）の個人送付希望者はその旨明記のうえ百円切手を同封ください。【対象作品】2021年 1 月～ 12 月に発表された作品。「不浪人賞」・「年度賞」のどちらか、または両方の応募可（2 賞への同一句の応募は不可）【応募用紙】所定用紙または A4 の用紙を使用し、楷書で不浪人賞（3 句）、年度賞（5 句）を分け、それぞれに住所、氏名、電話番号を記入ください（清記選）【締切】2022 年 5 月 31 日（当日消印有効）【発表】大賞の速報を各柳誌に掲載。結果詳細は「青森県川柳連盟だより」にて。なお、連盟だよりの送付ですが、基本的に所属吟社に一括送付致しますので応募の際は所属吟社記入のこと。【表彰】2022 年 9 月 23 日（祝）川柳忌黒石川柳大会にて（予定）*各賞 1 位に賞状と記念品【送り先】〒 038-3288 つがる市木造出来島 33 青森県川柳連盟「不浪人賞・年度賞」係宛【選者】★不浪人賞（6 名）渡辺梢（埼玉）・赤松ますみ（大阪）・鎌田京子（宮城）・新家完司（鳥取）・島田駱舟（千葉）・野沢省悟（青森）★年度賞（10 名）長谷川酔月（秋田）・熊谷岳朗（岩手）・雫石隆子（宮城）・山口まもる（山形）・小林左登流（福島）・千島鉄男・むさし・工藤青夏・笹田かなえ・田鎖晴天【連絡先】青森県川柳連盟事務局 濱山哲也 ☎ 080-5574-9297【主催】青森県川柳連盟

大炎上死へと追いやる無責任 拡散のネット炎上恐怖感 ワイドショー炎上しないと消えて行く 隠れいをすれば炎上倍返し 炎上で人間性が試される 燃え上がる惚れた欲目の恋心 火遊びのつもりが炎上消せずいる 燃え上がる恋はしたいが勇気なし 忘れてた噂ネットが火をつける スマホ炎上それから人が恐くなる 燃え上がれ武器は舌です机上戦 火だるまになって戦う正義感	【秀逸】	炎上をさせぬ火種をひとつ持ち めらめらはないが爪の火温かい	【特選】	締切りが来て炎上のペンの先
福田 芳記 磯島 雅男 久保あざみ 村上 昌子 久保あざみ 福田 芳記 佐藤まさあき 中村 英三 瀧尻 善英 城後 朱美 村上 昌子 瀧尻 善英	福田 芳記 磯島 雅男 久保あざみ 村上 昌子 久保あざみ 福田 芳記 佐藤まさあき 中村 英三 瀧尻 善英 城後 朱美 村上 昌子 瀧尻 善英	瀧尻 善英 村上 昌子	木村奈生美	

■互選『エール』

①戦場へ万歳エール送り出し
①ポジティブな背中を押ししている笑顔
①世界から医療従事者へのエール
①頂いたエール元氣を取り戻す
①空晴れてエールの交換だめ同志
②初孫の泣き声にさえじじエール
②奥入瀬に白鳥飛来よく来たね
③人生のピンチでもらう応援歌
③憧れの背中にそつとエアタッチ
⑤園児らの声で旅立つ鮭の稚魚

齊藤 蛙井
村上 昌子
瀧尻 善英
木村奈生美
中村 英三
漆館ミノリ
久保あざみ
福田 芳記
高田 幸柳
佐藤まさあき

【十和田たてがみ川柳会 2 月（誌上）句会案内】
【課題・選者】(各二句)『カレー』高田幸柳選／『カレー』木村奈生美選／『数える』瀧尻善英選【締切】令和 4 年 2 月 21 日消印有効【投句先】〒 034-0212 十和田市米田字桜平 72 高田幸柳あて

■会費拝受【12月受付分】

柳本恵子・ひとり静(以上奈良県) / 岩根彰子(京都府) / 斎藤泰子(秋田県) / 小林茂子(岡山県) / 渡邊静子・横山キミエ・葉閑女・まきこ・小野五郎・前田悠遊・滋野さち・佐藤節子・土田雅子(以上青森市) / きさらぎ彼句吾(弘前市) / 高木まあこ(黒石市) / 鳴海賢治(つがる市) / 柳谷たかお(外ヶ浜町) / むさし・ひらく・坂本清乃(以上蓬田村) ■ご芳志有難うございました 岩崎真里子 様

■おかげょうき川柳社会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかげょうき川柳社
→会費：6,000円（1年分）

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759
〒039-3502 青森市久栗坂浜田 87-2

●投句全般についてはこちらへ●

守田啓子 moriko@okajoki.com

終着駅 Sin

◆昨年12月に新葉館出版から「近・現代川柳アンソロジー」(編集: 栗原道夫・堺利彦)が出版された。Amazonの商品紹介には「明治から現代にいたる著名川柳作家と、編者・栗原道夫と堺利彦が約3年をかけて選定した作家の代表作品が集成された、近・現代を通じた最大の川柳アンソロジー。」とある。そこに何の間違いか私が載っている。どちらかという、私はアンソロジーには縁が無いと思っていた。何なら、こういうアンソロジーにわざと選ばれないよう行動してきたくらい、まで有る(笑)ただ、である。私の作品の元元がどこだろうと見ると、「川柳データベースより」と書いてある◆川柳を始めたころ、杉野草兵さんが類似句対策に困って「川柳もデータベースが必要」と訴えてい

た。そこで私は、全国すべては無理でも、おかげょうき川柳社ぐらのデータベースならいけると思い、作った川柳データベースである。20数年前の当時は、紙の句集も良いが、これもひとつの句集のカタチになり得ると感じていた。なので、私自身の名前が掲載されるより、川柳データベースが認知されていることが本当に嬉しかった◆全世界スマホ時代の今、PCがなくても、この川柳データベースをスマホで見れるようになって、いろんな人から「使ってるよ」と言われるようになった。それはそれで更新が大変なので、プレッシャーではあるのだが(笑)最初は、誰も見向きもしなかったけど、やってきて良かったなど、このアンソロジーを手にして感無量のハイボールを飲んでいる(笑)◆Sin

おかげょうき川柳社 作品募集案内

□ 2022.02.20 ㄨ おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句(4月号分)

【締切】2月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句(最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入)【掲載】4/10発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2022.03.05 おかげょうき川柳社本社3月句会

【時】3月5日(土)午後1時～【所】アウガ5階小会議室【投句締切】3月4日(金)15時【宿題】(各題3句詠)『ムード』/『向』/『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句「色を使った句」1句【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/>【メールで直接送信投句】toko@okajoki.com(熊谷冬鼓) ■句会参加の際は新型コロナ感染対策に協力願います。

□ 2022.03.09 ㄨ 「川柳吟行会 ぼ」3月句会

【投句締切】3月9日(第2水曜日)【題・投句数】『港』3句【合評会】3月16日(第3水曜日)アウガ5階で14:30～予定【投句先】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。選評等は後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方なら会員以外でも参加可。

□ 2022.03.20 ㄨ おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句(5月号分)

【締切】3月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句(最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入)【掲載】5/10発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛



おかじょうき川柳社：誌上句会

0 - OKAJOKI ZERO LINE - 番線

課題と選者 (2句詠・共選)

題：『短』

2/28 〆切

選者

徳長 玲 (徳島県)

むさし (青森県)

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

【ウェブサイトからの応募】

http://okajoki.com/toku/0line.html へアクセスし、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。



【メールで直接送信する場合】

メール本文内に「作品(2句まで)」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号(ふりがな)」「電話番号」を明記し、件名に「0番線」として、守田啓子宛にメール送信してください。<送信先アドレス：moriko@okajoki.com>

投句料 (※おかじょうき川柳社会員は無料です。)

1,000円 (発表誌呈) *発表誌の送付をもって、投句料受領したものとさせていただきます。

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。